

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

家計の運営は前進するのみ！
～コロナ禍後に思う～

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 464 号の目次>

■ 今週のテーマ

家計の運営は前進するのみ！
～コロナ禍後に思う～

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

家計の運営は前進するのみ！
～コロナ禍後に思う～

*:**

コロナ禍が収まったあと、
以前のような世の中に戻ることを
期待する方がいます。

そこで今回は、
コロナ禍が収束した後、
家計の収支は以前のように戻るのか？
考えてみます。

世の中は過去には戻らない

最初に私なりの結論をお話いたします。
世の中は、常に前進しています。

歴史に学ぶことは、常に進歩するためには、
必要なことです。

また、昔を懐かしみ、
たとえば、昔に流行った食べものが、
流行ったりすることはあっても、
長続きをすることはありません。

私たちは、常に進歩しているのです。

従って、このコロナ禍で、
家計の収入や支出、貯蓄といった、
家計運営に変化があったら、

その変化は、やがて元に戻ると言うより、
家計運営の状況が変わったと、
その変化を受け入れ、対応した方がいいです。

過去に戻らない例

現在、60歳以上の方ならば、
覚えていることでしょう。

1990年代の日本のバブル景気がはじけた後、
4,5年の間は、
国内の銀行によっては定期預貯金の金利が、
年利5%前後でした。

銀行にお金を預けておけば、
その利子利息が家計の一助になりました。

しかし、その後現在までの定期預貯金金利は、
金融機関によって違いますが、
年利 1.0% 台の金融機関はなく、
0.001% の銀行がほとんどです。

最近は、私のところに相談にみえた方から、
あまり聞かれなくなりましたが、
5, 6 年前までは、
「銀行の金利が以前のように戻るのは、
いつ頃になるのでしょうか？」
と聞かれたものでした。

日本で年利が 5%、6% の時代は、
当分ないと思っていた方が妥当です。

戻らない原因を知っておく

金利が戻らない原因は、
さまざまな要因が結び合っていて、
一言で言うことは難しいです。

あえて、今後も高金利を期待しないために、
原因を探れば、

金利が高くなれば、預ける方はいいですが、
反対にお金を借りる側は、
具体的には、
個人であれば住宅ローンの金利、
企業では、事業資金を借りる金利が高くなります。

しかし、現在の世の中では、
世の中にお金を回らせる気運が高くなく、
言い換えれば、お金を使う気運は、
盛り上がりなくともいい状況である。
ということです。

また、コロナ禍で、
国からの融資を受けている企業も多く
これからはその返済もあり、

金利を上げることは難しいでしょう。

すでに自分を自分で作る時代

反対に、世の中は常に便利になるように、前進しています。

身近な技術革新が顕在化しています。

その一例として、
スマートフォンに入れて使うアプリです。

このアプリは、個人が必要とするものを、増やしていきます。

従って、家族の間でも、
まったく同じアプリが入っていることは、ありません。

社会で最も小さな集団といえる家族でも、
自分で自分を作っていく時代なのです。

時代に対応するため家計の財布はひとつに

世の中は、便利になっても、
そのお金の出し入れは、
家計からするに変わりはありません。

従って、
家計の出入り口をシンプルにしておかないと、
何かコトが起こったとき、対応が遅くなり、
延滞料など、
不要なお金を払うことになりかねません。

たとえば、
夫婦ともに働いている家族で、
住宅ローンの返済は、夫の銀行口座から、
スマホの通信料は、
夫婦は各々銀行口座からで、
子どもの分は妻の銀行口座と決めておきます。

夫が、通常しない支払いがあったために、
住宅ローンの返済が出来ない月があった場合、
そのままにしておくで、
うっかりしていたでは、
済まない事態になりかねません。

これからの時代、
ますます家計の財布は、
ひとつにしておくべきです。

過去より、新しい家計運営方法

このように考えてきますと、

コロナ禍が収束しても、
コロナ禍以前の生活には戻らない。

と考え、昨年からのコロナ禍で、
以前と家計の収入と支出、貯蓄が、
どのように変わったのか？
変わったのであれば、その原因を探ります。

そして、
新しく我が家の家計運営方法を考えた方が、
健全な家計が保てるでしょう。

*:

■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ

*:

世の中が変われば、

対応して家計も変化します。

過去は参考にしても、

戻ることは考えないで、

進歩するのみです！

*:

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 18 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
首都圏や関西にも
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

■編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:

家計の収支は、

毎月の収入、支出額は同じような金額でも、
内容は、変化していることもあります。

変化した内容を重視して対応すべきでしょう！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。
こちらから出来ます。
<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします
E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野 FP 事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
